

# 校長室だより(No.23)

令和3年9月30日  
丹波市立黒井小学校長  
谷口 千尋

## 社会科見学

丹波署のお話を聞きました



パトカーにも乗りました



トランクの中身



小学校では3年生から「社会科」の学習が始まります。社会科の授業は、時代とともに大きく変化していく社会の状況を反映させることが大切だと言われています。今回の改定においても世界の国々との関わりや政治の働きへの関心を高めるように内容が見直されています。また、最近、頻繁に発生し、その被害が大きくなってきた自然災害発生時における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫・努力等に関する指導の充実、丹波市でも深刻な少子高齢化等による地域社会の変化、情報化に伴う人々の生活や産業の変化に関する内容についても見直されています。あわせて、これまで4年生から配布されていた「教科用図書 地図」を3年生から配布されるようになりました。これは、グローバル化などへの対応を図っていくためです。

2学期は、どの学年も校外学習(社会科見学)を計画しています。9月30日(木)に3年生の子どもたちが丹波警察署を見学させていただきました。3年生の目標の一つに「身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。」があります。地域の安全を守るために警察官はどのような働きをしているのか、そのためにどのような仕組みで仕事をされているかについてお話を聞かせていただきました。3年生全員で警察署の仕組みなどについて話を聞いた後、パトロールカーや白バイなどを見せてもらいました。特にパトロールカーのトランクの中身には、興味津々で防弾ヘルメットや水難救助用の浮輪など普段見ることのできない装備品を見せてもらいました。

社会科は、子どもたちの主体的な取組を大切にしていくなびの充実が求められている教科でもあります。目標にありますように「課題を追求したり解決したりする活動を通して」は、これまでに習得した知識や技能を活用して、課題を調べたり、思考・判断したり表現したりしながら課題を解決する一連の学習過程で育成されるものであるとされています。「課題を発見する」→「調査の計画を立てる」→「調べる」→「まとめる」→「表現する」ように学習過程を大切にしたい問題解決的な学習を大切にしていきたいと考えています。